

始めようリサイクル

「リサイクルプラザ宮の沢」活用法

「ごみ減量をするためにはどうしたら良いの？」…
そんなときは迷わず「リサイクルプラザ宮の沢」へ。
ここでは、不用品の有効活用など、ごみ減量意識の普及向上
を目指す活動拠点です。きっと、あなたのお役に立ちます。

見て聞いて納得 ～リサイクル情報コーナー

ごみの分別・生ごみの堆肥化などの
ごみ減量・リサイクルに関する展示や、
図書・ビデオの閲覧をしています。
不用品の交換などを促進するため
「ゆずります、ゆずってください」と
いう市民同士の情報交換の場所も提供
しています。



掘り出し物があるかも ～リサイクル家具などの展示提供

大型ごみ収集センターへ「リサイク
ル希望」として提供された木製家具な
どを修理して市民に販売しています。
展示・申込期間 毎月1日～15日。
来館者本人に限り1点まで。
抽選日 毎月16日に公開抽選（休館
日の場合その翌日）。



資源の拠点回収もしています

回収品目 新聞・雑誌の古紙、ミック
スペーパー（上質紙など）、牛乳・酒
の紙パック、ウエス用古着・古布、リ
ターナブルびん、廃食用油。

場所 宮の沢1-1 生涯学習総合センター
「ちえりあ」1階。
開館時間 午前10時～午後6時。
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末
年始（12月29日～1月3日）。
交通機関 地下鉄東西線宮の沢駅直結。
Tel671-4153、Fax671-4156
ホームページ<http://www.sapporo530.or.jp/>



リサイクルの知恵を拝借 ～ふれあい相談コーナー

専門スタッフが、日替わりで相談に
応じています。
期間 毎月1日～15日。
時間 午前10時～午後3時。
※火曜日は「生ごみ堆肥化相談」、土
曜日は「おもちゃの病院」。そのほか、
古布・古着活用相談、傘布活用相談、
鍋ふとんの作り方・使い方、ごみ分別
の相談日があります。
*鍋ふとん＝料理を保温するため鍋を包む布。



資源化

ごみを資源に変えよう！②生ごみ

始めよう生ごみリサイクル

生ごみは、各家庭でリサイクルできるごみです。ここ
では、自宅に庭がなくてもできる堆肥化の方法の一つを
紹介します。

▲段ボール箱を使った堆肥作り

①段ボールの上ふたを立て、紙テープで四隅をとめ、底
に段ボールを敷いて補強する。別の段ボール箱を使いふ
たを作る。

②もみ殻くん炭とピートモスを2対3の割合で、箱の深
さ半分くらいまで入れ、よくかき混ぜる。

※段ボール周りの通気性を確保すること（大量の水分が
蒸発するため。特に底に注意）。

③生ごみを水を切らずに入れ、よくかき混ぜる。混ぜ終
わったらしっかりふたをする（虫が入らないようにするため）。

④1日1回、または生ごみを入れると
き、中身をかき混ぜ空気を取り入れる。

⑤3カ月くらい続けたら、生ごみの投
入を止めて時々かき混ぜる。1～2週
間後、土と混ぜてさらに1～2ヶ月ほ
ど置くと、堆肥として使える。



「水切り」でごみ減量と悪臭防止

生ごみは多くの水分を含んでいるため、水切
りを徹底するだけでも減量できます。

▲水切りのメリット

・ごみ出しの際にごみ袋から水が滴ることがな
くして衛生的。

・生ごみ特有の腐敗臭を防止。

▲ポイントは「初めから水でぬらさない」

・野菜などは、不要な部分を先に切り落として
から洗う。

・乾いた調理くず専用の入れ物を作る。

詳しくは、ハンドブック「はじめよう！
生ごみリサイクル」をご覧ください。

配布場所 西区役所、リサイクルプラザ宮
の沢、環境局ごみ減量推進課。
※環境局「清掃ホームページ」でもご覧に
なれます。

<http://www.city.sapporo.jp/seiso/>

詳細 ごみ減量推進課Tel211-2928

